

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則をここに公布する。

令和 5 年 3 月 3 1 日

四日市市長 森 智 広

四日市市規則第 4 3 号

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則
(四日市市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例施行規則の一部改正)

第 1 条 四日市市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例施行規則 (平成 1 4 年四日市市規則第 2 4 号) の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
(派遣の対象とならない職員の特例) 第 2 条 条例第 2 条第 2 項第 1 号に規定する規則で定める職員は、地方公務員法 (昭和 2 5 年法律第 2 6 1 号) <u>第 2 2 条の 4 第 1 項又は第 2 2 条の 5 第 1 項の規定</u> により採用された職員とする。 2 (略)	(派遣の対象とならない職員の特例) 第 2 条 条例第 2 条第 2 項第 1 号に規定する規則で定める職員は、地方公務員法 (昭和 2 5 年法律第 2 6 1 号) <u>第 2 8 条の 5 第 1 項又は第 2 8 条の 6 第 2 項</u> により採用された職員とする。 2 (略)

(四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部改正)

第 2 条 四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則 (昭和 6 0 年四日市市規則第 6 号) の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
(特別の形態によって勤務する必要がある職員の週休日及び勤務時間の割り振りの基準等) 第 2 条の 2 任命権者は、条例第 3 条の 3 の規定に基づき、職員の週休日 (条例第 3 条の 2 第 1 項に規定する週休	(特別の形態によって勤務する必要がある職員の週休日及び勤務時間の割り振りの基準等) 第 2 条の 2 任命権者は、条例第 3 条の 3 の規定に基づき、職員の週休日 (条例第 3 条の 2 第 1 項に規定する週休

日をいう。以下同じ。)及び勤務時間の割振りについて別に定める場合には、4週間ごとの期間についてこれを定め、当該期間内に8日(条例第3条第3項に規定する定年前再任用短時間勤務職員(以下「定年前再任用短時間勤務職員」という。)及び条例第3条第4項に規定する地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律(平成14年法律第48号)第5条の規定により採用された職員(以下「任期付短時間勤務職員」という。)にあつては、8日以上)の週休日を設定、勤務時間を割り振られた日(以下「勤務日」という。)が引き続き12日を超えないようにし、かつ、1回の勤務に割り振られる勤務時間が16時間を超えないようにしなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、任命権者は、職員の職務の特殊性又は当該公署の特殊の必要により週休日を4週間につき8日(定年前再任用短時間勤務職員及び任期付短時間勤務職員にあつては8日以上)とすることが困難であると認められる職員については、週休日が毎4週間につき4日以上となるようにするとともに、勤務日が引き続き12日を超えないようにし、かつ、1回の勤務に割り振られる勤務時間が16時間を超えないようにする場合に限り、週休日及び勤務時間の割

日をいう。以下同じ。)及び勤務時間の割振りについて別に定める場合には、4週間ごとの期間についてこれを定め、当該期間内に8日(条例第3条第3項に規定する再任用短時間勤務職員(以下「再任用短時間勤務職員」という。)及び条例第3条第4項に規定する地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律(平成14年法律第48号)第5条の規定により採用された職員(以下「任期付短時間勤務職員」という。)にあつては、8日以上)の週休日を設定、勤務時間を割り振られた日(以下「勤務日」という。)が引き続き12日を超えないようにし、かつ、1回の勤務に割り振られる勤務時間が16時間を超えないようにしなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、任命権者は、職員の職務の特殊性又は当該公署の特殊の必要により週休日を4週間につき8日(再任用短時間勤務職員及び任期付短時間勤務職員にあつては8日以上)とすることが困難であると認められる職員については、週休日が毎4週間につき4日以上となるようにするとともに、勤務日が引き続き12日を超えないようにし、かつ、1回の勤務に割り振られる勤務時間が16時間を超えないようにする場合に限り、週休日及び勤務時間の割振りに

振りについて別に定めることができる。

(年次休暇の日数)

第10条 条例第9条第1項第1号の規則で定める日数は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める日数（1日未満の端数があるときは、これを四捨五入して得た日数）とする。ただし、その日数が労働基準法（昭和22年法律第49号）第39条の規定により付与すべきものとされている日数を下回る場合には、同条の規定により付与すべきものとされている日数とする。

(1) 齊一型短時間勤務職員（定年前再任用短時間勤務職員（条例第3条第3項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるものを除く。）、育児短時間勤務職員等、任期付短時間勤務職員及び後補充任期付短時間勤務職員（同条第4項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるものを除く。）のうち、1週間ごとの勤務日の日数及び勤務日ごとの勤務時間の時間数が同一であるものをいう。） 20日に齊一型短時間勤務職員の1週間の勤務日の日数を5日で除して得た数を乗じて得た日数

(2) 不齊一型短時間勤務職員（定年前

について別に定めることができる。

(年次休暇の日数)

第10条 条例第9条第1項第1号の規則で定める日数は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める日数（1日未満の端数があるときは、これを四捨五入して得た日数）とする。ただし、その日数が労働基準法（昭和22年法律第49号）第39条の規定により付与すべきものとされている日数を下回る場合には、同条の規定により付与すべきものとされている日数とする。

(1) 齊一型短時間勤務職員（再任用短時間勤務職員（条例第3条第3項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるものを除く。）、育児短時間勤務職員等、任期付短時間勤務職員及び後補充任期付短時間勤務職員（同条第4項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるものを除く。）のうち、1週間ごとの勤務日の日数及び勤務日ごとの勤務時間の時間数が同一であるものをいう。） 20日に齊一型短時間勤務職員の1週間の勤務日の日数を5日で除して得た数を乗じて得た日数

(2) 不齊一型短時間勤務職員（再任用

再任用短時間勤務職員（条例第3条第3項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるものを除く。）、育児短時間勤務職員等、任期付短時間勤務職員及び後補充任期付短時間勤務職員（同条第4項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるものを除く。）のうち、斉一型短時間勤務職員以外のものをいう。） 155時間に条例第3条第2項、第3項又は第4項に基づき定められた不斉一型短時間勤務職員の1週間当たりの勤務時間を38時間45分で除して得た数を乗じて得た時間数を、7時間45分を1日として日に換算して得た日数

(3) 定年前再任用短時間勤務職員のうち条例第3条第3項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるもの又は任期付短時間勤務職員若しくは後補充任期付短時間勤務職員のうち同条第4項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるもの 20日

第10条の2 条例第9条第1項第2号及び第3号の規則で定める日数は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める日数（定年前再任用短時間勤務職員、育児短時間勤務職員

短時間勤務職員（条例第3条第3項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるものを除く。）、育児短時間勤務職員等、任期付短時間勤務職員及び後補充任期付短時間勤務職員（同条第4項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるものを除く。）のうち、斉一型短時間勤務職員以外のものをいう。） 155時間に条例第3条第2項、第3項又は第4項に基づき定められた不斉一型短時間勤務職員の1週間当たりの勤務時間を38時間45分で除して得た数を乗じて得た時間数を、7時間45分を1日として日に換算して得た日数

(3) 再任用短時間勤務職員のうち条例第3条第3項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるもの又は任期付短時間勤務職員若しくは後補充任期付短時間勤務職員のうち同条第4項に規定する1週間当たりの勤務時間が28時間45分以上であるもの 20日

第10条の2 条例第9条第1項第2号及び第3号の規則で定める日数は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める日数（再任用短時間勤務職員、育児短時間勤務職員等、任

等、任期付短時間勤務職員及び後補充任期付短時間勤務職員にあつては、その者の勤務時間等を考慮し、任命権者が別に定める日数) とする。

(1)及び(2) (略)

(定年前再任用短期間勤務職員に関する年次休暇の特例)

第10条の3 退職後引き続き(退職後、任命権者が定める相当の期間(以下「相当の期間」という。)を経過していない場合を含む。以下同じ。)採用された定年前再任用短期間勤務職員の当該採用された年度における年次休暇については、当該採用後の勤務と退職以前の勤務とが継続しているものとみなす。四日市市職員の再任用に関する条例(平成12年四日市市条例第67号)第3条の規定による任期の更新(以下「任期の更新」という。)をしたときも同様とする。

2 前項の規定に基づき、条例第9条第1項に規定する年次休暇の日数及び条例第9条第2項に規定する繰越された年次休暇の日数に1日未満の端数が生じた場合については、定年前再任用短時間勤務職員の採用前後にお

期付短時間勤務職員及び後補充任期付短時間勤務職員にあつては、その者の勤務時間等を考慮し、任命権者が別に定める日数) とする。

(1)及び(2) (略)

(再任用職員等に関する年次休暇の特例)

第10条の3 退職後引き続き(退職後、任命権者が定める相当の期間(以下「相当の期間」という。)を経過していない場合を含む。以下同じ。)採用された再任用職員(地方公務員法第28条の4第1項又は第28条の6第1項の規定により再任用職員となつた職員をいう。以下同じ。)及び再任用短時間勤務職員(以下「再任用職員等」という。)の当該採用された年度における年次休暇については、当該採用後の勤務と退職以前の勤務とが継続しているものとみなす。四日市市職員の再任用に関する条例(平成12年四日市市条例第67号)第3条の規定による任期の更新(以下「任期の更新」という。)をしたときも同様とする。

2 前項の規定に基づき、条例第9条第1項に規定する年次休暇の日数及び条例第9条第2項に規定する繰越された年次休暇の日数に1日未満の端数が生じた場合については、再任用短時間勤務職員の採用前後における1

ける1日の勤務時間の差異を考慮して必要な調整を行うものとする。	日の勤務時間の差異を考慮して必要な調整を行うものとする。
---------------------------------	------------------------------

(四日市市職員の育児休業等に関する規則の一部改正)

第3条 四日市市職員の育児休業等に関する規則(平成4年四日市市規則第6号)の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(<u>条例第2条第4号ア(イ)</u>の規則で定める非常勤職員)</p> <p>第2条の2 四日市市職員の育児休業等に関する条例(平成4年四日市市条例第8号。以下「条例」という。) <u>第2条第4号ア(イ)</u>の規則で定める非常勤職員は、1週間の勤務日が3日以上とされている非常勤職員又は週以外の期間によって勤務日が定められている非常勤職員で1年間の勤務日が121日以上である非常勤職員とする。</p>	<p>(<u>条例第2条第3号ア(イ)</u>の規則で定める非常勤職員)</p> <p>第2条の2 四日市市職員の育児休業等に関する条例(平成4年四日市市条例第8号。以下「条例」という。) <u>第2条第3号ア(イ)</u>の規則で定める非常勤職員は、1週間の勤務日が3日以上とされている非常勤職員又は週以外の期間によって勤務日が定められている非常勤職員で1年間の勤務日が121日以上である非常勤職員とする。</p>

(四日市市職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部改正)

第4条 四日市市職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則(昭和62年四日市市規則第11号)の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>目次</p> <p>第1章及び第2章 (略)</p> <p>第3章 昇格及び降格(第18条－<u>第22条の2</u>)</p> <p>第4章から第6章まで (略)</p> <p>附則</p>	<p>目次</p> <p>第1章及び第2章 (略)</p> <p>第3章 昇格及び降格(第18条－<u>第22条</u>)</p> <p>第4章から第6章まで (略)</p> <p>附則</p>

(新たに職員となった者の号給)

第11条 新たに職員となった者の号給は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める号給とする。

(1) (略)

(2) 前条の規定により決定された職務の級の号給がその者に適用される初任給基準表の試験欄及び学歴免許等欄の区分に対応する初任給欄に定められていない職員 初任給基準表に定める号給を基礎として、その者の属する職務の級に昇格し、又は降格したものとした場合に第21条第1項又は第22条の2第1項の規定により得られる号給

(3)及び(4)

2及び3 (略)

(降格)

第22条 職員を降格させる場合には、その職務に応じ、その者の属する職務の級を下位の職務の級に決定するものとする。

2 前項の規定により職員を降格させる場合には、当該職員の人事評価の結果又は勤務成績を判定するに足りると認められる事実に基づきその職務の級より下位の職務の級に分類されている職務を遂行することが可能であると認められなければならない。

(新たに職員となった者の号給)

第11条 新たに職員となった者の号給は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める号給とする。

(1) (略)

(2) 前条の規定により決定された職務の級の号給がその者に適用される初任給基準表の試験欄及び学歴免許等欄の区分に対応する初任給欄に定められていない職員 初任給基準表に定める号給を基礎として、その者の属する職務の級に昇格し、又は降格したものとした場合に第21条第1項又は第22条第1項の規定により得られる号給

(3)及び(4)

2及び3 (略)

(降格の場合の号給)

第22条 職員を降格させた場合におけるその者の号給は、降格した日の前日に受けていた号給と同じ額の号給(同じ額の号給がないときは、直近下位の額の号給)とする。

2 職員を降格させた場合で当該降格が2級以上下位の職務の級への降格であるときにおける前項の規定の適用については、それぞれ1級下位の職務の級への降格が順次行われたものとして取り扱うものとする。

3 職員から書面による同意を得た場合には、第1項の規定により当該職員を降格させることができる。

(降格の場合の号給)

第22条の2 職員を降格させた場合におけるその者の号給は、その者に適用される給料表の別に応じ、かつ、降格した日の前日に受けていた号給に対応する別表第8の2に定める降格時号給対応表の降格後の号給欄に定める号給とする。

2 職員を降格させた場合で当該降格が2級以上下位の職務の級への降格であるときにおける前項の規定の適用については、それぞれ1級下位の職務の級への降格が順次行われたものとして取り扱うものとする。

3 前2項の規定により職員の号給を決定することが著しく不相当であると認められる場合には、これらの規定にかかわらず、あらかじめ市長の承認を得て、その者の号給を決定することができる。この場合において、当該号給は、当該職員が降格した日の前日に受けていた給料月額に達しない額の号給でなければならない。

3 前2項の規定により職員の号給を決定することが著しく不相当であると認められる場合には、これらの規定にかかわらず、あらかじめ市長の承認を得て、その者の号給を決定することができる。

別表第8 昇格時号給対応表（第21条関係）

ア 行政職給料表昇格時号給対応表

(略)

イ 医療職給料表昇格時号給対応表

(略)

別表第8の2 降格時号給対応表（第22条の2関係）

ア 行政職給料表降格時号給対応表

降格した日 の前日に受 けていた号 給	降格後の号給							
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
1	33	17	17	9	9	13	13	17
2	33	18	18	10	10	14	14	18
3	33	19	19	11	11	15	15	19
4	34	20	20	12	12	16	16	20
5	35	21	21	13	13	17	17	21
6	36	22	22	14	14	18	18	22
7	37	23	23	15	15	19	19	23
8	39	24	24	16	16	20	20	24
9	40	25	25	17	17	21	21	25
10	42	26	26	18	18	22	22	26
11	43	27	27	19	19	23	23	27
12	44	28	28	20	20	24	24	28
13	45	29	29	21	21	25	25	33
14	46	30	30	22	22	26	26	38
15	47	31	31	23	23	27	27	43
16	48	32	32	24	24	28	28	45
17	49	33	33	25	25	29	29	45
18	50	34	34	26	26	30	30	45
19	51	35	35	27	27	31	31	45

<u>20</u>	<u>52</u>	<u>36</u>	<u>36</u>	<u>28</u>	<u>28</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>45</u>
<u>21</u>	<u>53</u>	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>29</u>	<u>29</u>	<u>34</u>	<u>33</u>	<u>45</u>
<u>22</u>	<u>54</u>	<u>38</u>	<u>38</u>	<u>30</u>	<u>30</u>	<u>36</u>	<u>34</u>	<u>45</u>
<u>23</u>	<u>55</u>	<u>39</u>	<u>39</u>	<u>31</u>	<u>31</u>	<u>38</u>	<u>35</u>	<u>45</u>
<u>24</u>	<u>56</u>	<u>40</u>	<u>40</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>40</u>	<u>36</u>	<u>45</u>
<u>25</u>	<u>59</u>	<u>41</u>	<u>41</u>	<u>33</u>	<u>33</u>	<u>42</u>	<u>38</u>	<u>45</u>
<u>26</u>	<u>62</u>	<u>42</u>	<u>42</u>	<u>34</u>	<u>34</u>	<u>44</u>	<u>40</u>	<u>45</u>
<u>27</u>	<u>65</u>	<u>43</u>	<u>43</u>	<u>35</u>	<u>35</u>	<u>46</u>	<u>42</u>	<u>45</u>
<u>28</u>	<u>68</u>	<u>44</u>	<u>44</u>	<u>36</u>	<u>36</u>	<u>48</u>	<u>47</u>	<u>45</u>
<u>29</u>	<u>70</u>	<u>45</u>	<u>45</u>	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>52</u>	<u>52</u>	<u>45</u>
<u>30</u>	<u>72</u>	<u>46</u>	<u>46</u>	<u>38</u>	<u>38</u>	<u>56</u>	<u>57</u>	<u>45</u>
<u>31</u>	<u>74</u>	<u>47</u>	<u>47</u>	<u>39</u>	<u>39</u>	<u>67</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>32</u>	<u>76</u>	<u>48</u>	<u>48</u>	<u>40</u>	<u>40</u>	<u>80</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>33</u>	<u>78</u>	<u>49</u>	<u>49</u>	<u>41</u>	<u>41</u>	<u>82</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>34</u>	<u>80</u>	<u>50</u>	<u>50</u>	<u>42</u>	<u>42</u>	<u>84</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>35</u>	<u>82</u>	<u>51</u>	<u>51</u>	<u>43</u>	<u>43</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>36</u>	<u>84</u>	<u>52</u>	<u>52</u>	<u>44</u>	<u>44</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>37</u>	<u>86</u>	<u>53</u>	<u>53</u>	<u>45</u>	<u>45</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>38</u>	<u>88</u>	<u>54</u>	<u>54</u>	<u>46</u>	<u>46</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>39</u>	<u>90</u>	<u>55</u>	<u>55</u>	<u>47</u>	<u>47</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>40</u>	<u>92</u>	<u>56</u>	<u>56</u>	<u>48</u>	<u>48</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>41</u>	<u>93</u>	<u>58</u>	<u>57</u>	<u>49</u>	<u>50</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	<u>45</u>
<u>42</u>	<u>93</u>	<u>60</u>	<u>58</u>	<u>50</u>	<u>52</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	
<u>43</u>	<u>93</u>	<u>62</u>	<u>59</u>	<u>51</u>	<u>54</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	
<u>44</u>	<u>93</u>	<u>64</u>	<u>60</u>	<u>52</u>	<u>56</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	
<u>45</u>	<u>93</u>	<u>66</u>	<u>63</u>	<u>53</u>	<u>58</u>	<u>85</u>	<u>61</u>	
<u>46</u>	<u>93</u>	<u>68</u>	<u>66</u>	<u>54</u>	<u>60</u>	<u>85</u>		
<u>47</u>	<u>93</u>	<u>70</u>	<u>69</u>	<u>55</u>	<u>62</u>	<u>85</u>		
<u>48</u>	<u>93</u>	<u>72</u>	<u>72</u>	<u>56</u>	<u>64</u>	<u>85</u>		
<u>49</u>	<u>93</u>	<u>76</u>	<u>75</u>	<u>57</u>	<u>66</u>	<u>85</u>		
<u>50</u>	<u>93</u>	<u>80</u>	<u>78</u>	<u>58</u>	<u>76</u>	<u>85</u>		

<u>5 1</u>	<u>9 3</u>	<u>8 4</u>	<u>8 1</u>	<u>5 9</u>	<u>8 8</u>	<u>8 5</u>		
<u>5 2</u>	<u>9 3</u>	<u>8 8</u>	<u>8 4</u>	<u>6 0</u>	<u>9 2</u>	<u>8 5</u>		
<u>5 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>	<u>8 8</u>	<u>6 1</u>	<u>9 3</u>	<u>8 5</u>		
<u>5 4</u>	<u>9 3</u>	<u>9 8</u>	<u>9 2</u>	<u>6 2</u>	<u>9 3</u>	<u>8 5</u>		
<u>5 5</u>	<u>9 3</u>	<u>1 0 3</u>	<u>9 7</u>	<u>6 3</u>	<u>9 3</u>	<u>8 5</u>		
<u>5 6</u>	<u>9 3</u>	<u>1 0 9</u>	<u>1 0 2</u>	<u>6 4</u>	<u>9 3</u>	<u>8 5</u>		
<u>5 7</u>	<u>9 3</u>	<u>1 1 5</u>	<u>1 0 7</u>	<u>6 5</u>	<u>9 3</u>	<u>8 5</u>		
<u>5 8</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 1</u>	<u>1 1 2</u>	<u>6 6</u>	<u>9 3</u>	<u>8 5</u>		
<u>5 9</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>6 7</u>	<u>9 3</u>	<u>8 5</u>		
<u>6 0</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>6 8</u>	<u>9 3</u>	<u>8 5</u>		
<u>6 1</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>6 9</u>	<u>9 3</u>	<u>8 5</u>		
<u>6 2</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>7 0</u>	<u>9 3</u>			
<u>6 3</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>7 1</u>	<u>9 3</u>			
<u>6 4</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>7 2</u>	<u>9 3</u>			
<u>6 5</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>7 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>6 6</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>7 4</u>	<u>9 3</u>			
<u>6 7</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>7 5</u>	<u>9 3</u>			
<u>6 8</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>8 0</u>	<u>9 3</u>			
<u>6 9</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>8 5</u>	<u>9 3</u>			
<u>7 0</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>8 8</u>	<u>9 3</u>			
<u>7 1</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>8 9</u>	<u>9 3</u>			
<u>7 2</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 0</u>	<u>9 3</u>			
<u>7 3</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 1</u>	<u>9 3</u>			
<u>7 4</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 2</u>	<u>9 3</u>			
<u>7 5</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>7 6</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>7 7</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>7 8</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>7 9</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>8 0</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>8 1</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			

<u>8 2</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>8 3</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>8 4</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>8 5</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>9 3</u>			
<u>8 6</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>				
<u>8 7</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>				
<u>8 8</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>				
<u>8 9</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>				
<u>9 0</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>				
<u>9 1</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>				
<u>9 2</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>				
<u>9 3</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>	<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>				
<u>9 4</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>9 5</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>9 6</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>9 7</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>9 8</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>9 9</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 0 0</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 0 1</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 0 2</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 0 3</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 0 4</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 0 5</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 0 6</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 0 7</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 0 8</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 0 9</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 1 0</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 1 1</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 1 2</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						

<u>1 1 3</u>	<u>9 3</u>	<u>1 2 5</u>						
<u>1 1 4</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 1 5</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 1 6</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 1 7</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 1 8</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 1 9</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 2 0</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 2 1</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 2 2</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 2 3</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 2 4</u>	<u>9 3</u>							
<u>1 2 5</u>	<u>9 3</u>							

イ 医療職給料表降格時号給対応表

降格した日 の前日に受 けていた号 給	降格後の号給			
	5級	6級	7級	8級
<u>1</u>	<u>2 1</u>	<u>1 7</u>	<u>2 5</u>	<u>4 5</u>
<u>2</u>	<u>2 2</u>	<u>1 8</u>	<u>2 6</u>	<u>4 6</u>
<u>3</u>	<u>2 3</u>	<u>1 9</u>	<u>2 7</u>	<u>4 7</u>
<u>4</u>	<u>2 4</u>	<u>2 0</u>	<u>2 8</u>	<u>4 8</u>
<u>5</u>	<u>2 5</u>	<u>2 1</u>	<u>2 9</u>	<u>4 9</u>
<u>6</u>	<u>2 6</u>	<u>2 2</u>	<u>3 0</u>	<u>5 0</u>
<u>7</u>	<u>2 7</u>	<u>2 3</u>	<u>3 1</u>	<u>5 1</u>
<u>8</u>	<u>2 8</u>	<u>2 4</u>	<u>3 2</u>	<u>5 2</u>
<u>9</u>	<u>2 9</u>	<u>2 5</u>	<u>3 3</u>	<u>5 4</u>
<u>1 0</u>	<u>3 0</u>	<u>2 6</u>	<u>3 4</u>	<u>5 6</u>
<u>1 1</u>	<u>3 1</u>	<u>2 7</u>	<u>3 5</u>	<u>5 8</u>
<u>1 2</u>	<u>3 2</u>	<u>2 8</u>	<u>3 6</u>	<u>6 0</u>
<u>1 3</u>	<u>3 3</u>	<u>2 9</u>	<u>3 7</u>	<u>6 2</u>

<u>1 4</u>	<u>3 4</u>	<u>3 0</u>	<u>3 8</u>	<u>6 4</u>
<u>1 5</u>	<u>3 5</u>	<u>3 1</u>	<u>3 9</u>	<u>6 5</u>
<u>1 6</u>	<u>3 6</u>	<u>3 2</u>	<u>4 0</u>	<u>6 5</u>
<u>1 7</u>	<u>3 7</u>	<u>3 3</u>	<u>4 1</u>	<u>6 5</u>
<u>1 8</u>	<u>3 8</u>	<u>3 4</u>	<u>4 2</u>	<u>6 5</u>
<u>1 9</u>	<u>3 9</u>	<u>3 5</u>	<u>4 3</u>	<u>6 5</u>
<u>2 0</u>	<u>4 0</u>	<u>3 6</u>	<u>4 4</u>	<u>6 5</u>
<u>2 1</u>	<u>4 1</u>	<u>3 7</u>	<u>4 5</u>	<u>6 5</u>
<u>2 2</u>	<u>4 2</u>	<u>3 8</u>	<u>4 6</u>	<u>6 5</u>
<u>2 3</u>	<u>4 3</u>	<u>3 9</u>	<u>4 7</u>	<u>6 5</u>
<u>2 4</u>	<u>4 4</u>	<u>4 0</u>	<u>4 8</u>	<u>6 5</u>
<u>2 5</u>	<u>4 6</u>	<u>4 1</u>	<u>4 9</u>	<u>6 5</u>
<u>2 6</u>	<u>4 8</u>	<u>4 2</u>	<u>5 0</u>	<u>6 5</u>
<u>2 7</u>	<u>5 2</u>	<u>4 3</u>	<u>5 1</u>	<u>6 5</u>
<u>2 8</u>	<u>5 6</u>	<u>4 4</u>	<u>5 2</u>	<u>6 5</u>
<u>2 9</u>	<u>5 9</u>	<u>4 5</u>	<u>5 3</u>	<u>6 5</u>
<u>3 0</u>	<u>6 2</u>	<u>4 6</u>	<u>5 4</u>	<u>6 5</u>
<u>3 1</u>	<u>6 5</u>	<u>4 7</u>	<u>5 5</u>	<u>6 5</u>
<u>3 2</u>	<u>6 5</u>	<u>4 8</u>	<u>5 6</u>	<u>6 5</u>
<u>3 3</u>	<u>6 5</u>	<u>4 9</u>	<u>5 7</u>	<u>6 5</u>
<u>3 4</u>	<u>6 5</u>	<u>5 0</u>	<u>5 8</u>	<u>6 5</u>
<u>3 5</u>	<u>6 5</u>	<u>5 1</u>	<u>5 9</u>	<u>6 5</u>
<u>3 6</u>	<u>6 5</u>	<u>5 2</u>	<u>6 0</u>	<u>6 5</u>
<u>3 7</u>	<u>6 5</u>	<u>5 4</u>	<u>6 2</u>	<u>6 5</u>
<u>3 8</u>	<u>6 5</u>	<u>5 6</u>	<u>6 4</u>	<u>6 5</u>
<u>3 9</u>	<u>6 5</u>	<u>5 8</u>	<u>6 6</u>	<u>6 5</u>
<u>4 0</u>	<u>6 5</u>	<u>6 0</u>	<u>6 8</u>	<u>6 5</u>
<u>4 1</u>	<u>6 5</u>	<u>6 2</u>	<u>7 0</u>	<u>6 5</u>
<u>4 2</u>	<u>6 5</u>	<u>6 4</u>	<u>7 4</u>	<u>6 5</u>
<u>4 3</u>	<u>6 5</u>	<u>6 6</u>	<u>7 8</u>	<u>6 5</u>
<u>4 4</u>	<u>6 5</u>	<u>6 8</u>	<u>8 2</u>	<u>6 5</u>

<u>4 5</u>	<u>6 5</u>	<u>7 1</u>	<u>8 6</u>	<u>6 5</u>
<u>4 6</u>	<u>6 5</u>	<u>7 4</u>	<u>8 8</u>	<u>6 5</u>
<u>4 7</u>	<u>6 5</u>	<u>7 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>4 8</u>	<u>6 5</u>	<u>8 2</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>4 9</u>	<u>6 5</u>	<u>8 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>5 0</u>	<u>6 5</u>	<u>9 2</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>5 1</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>5 2</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>5 3</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>5 4</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>5 5</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>5 6</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>5 7</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>5 8</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>5 9</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>6 0</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>6 1</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>6 2</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>6 3</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>6 4</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>6 5</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>	<u>8 9</u>	<u>6 5</u>
<u>6 6</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>		<u>6 5</u>
<u>6 7</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>		<u>6 5</u>
<u>6 8</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>		<u>6 5</u>
<u>6 9</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>		<u>6 5</u>
<u>7 0</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>		<u>6 5</u>
<u>7 1</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>		<u>6 5</u>
<u>7 2</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>		<u>6 5</u>
<u>7 3</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>		<u>6 5</u>
<u>7 4</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>		<u>6 5</u>
<u>7 5</u>	<u>6 5</u>	<u>9 7</u>		<u>6 5</u>

<u>76</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>77</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>78</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>79</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>80</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>81</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>82</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>83</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>84</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>85</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>86</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>87</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>88</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>89</u>	<u>65</u>	<u>97</u>		<u>65</u>
<u>90</u>	<u>65</u>			<u>65</u>
<u>91</u>	<u>65</u>			<u>65</u>
<u>92</u>	<u>65</u>			<u>65</u>
<u>93</u>	<u>65</u>			<u>65</u>
<u>94</u>	<u>65</u>			<u>65</u>
<u>95</u>	<u>65</u>			<u>65</u>
<u>96</u>	<u>65</u>			<u>65</u>
<u>97</u>	<u>65</u>			<u>65</u>
<u>98</u>				<u>65</u>
<u>99</u>				<u>65</u>

改正前
別表第8 (第21条関係)
ア 行政職
(略)
イ 医療職

(略)

(四日市市職員管理職手当支給規則の一部改正)

第5条 四日市市職員管理職手当支給規則（平成3年四日市市規則第46号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>附 則 <u>（施行期日）</u></p> <p><u>1 この規則は、平成4年1月1日から施行する。</u></p> <p><u>（条例附則第79条の規定の適用を受ける職員の管理職特別勤務手当の額）</u></p> <p><u>2 条例附則第79条の規定の適用を受ける職員に対する第3条第2項及び第4条の適用については、当分の間、これらの規定中「掲げる額」とあるのは、「掲げる額に100分の70を乗じて得た額（その額に50円未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、50円以上100円未満の端数を生じたときはこれを100円に切り上げた額）」とする。</u></p>	<p>附 則</p> <p>この規則は、平成4年1月1日から施行する。</p>

(四日市市職員住居手当支給規則)

第6条 四日市市職員住居手当支給規則（昭和49年四日市市規則第33号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
(権衡職員の範囲)	(権衡職員の範囲)

第4条 条例第40条の2第1項第2号の規則で定める職員は、四日市市職員単身赴任手当支給規則（平成2年四日市市規則第26号）第4条の2第2項に該当する職員（地方公務員法（昭和25年法律第261号）第22条の4第1項又は第22条の5第1項の規定により採用された職員を除く。）で、同項第2号に規定する満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子が居住するための住宅として、同号に規定する転任（四日市市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例（昭和33年四日市市条例第15号）の適用を受ける職員、国家公務員又は他の地方公共団体の地方公務員であった者から引き続き給料表の適用を受ける職員となった者にあつては、当該適用）の直前の住居であった住宅（市が設置する公舎及びその他規則で定める住宅を除く。）又はこれに準ずるものとして市長の定める住宅を借り受け、条例第40条の2第1項第1号に規定する月額を超える家賃を支払っているものとする。

第4条 条例第40条の2第1項第2号の規則で定める職員は、四日市市職員単身赴任手当支給規則（平成2年四日市市規則第26号）第4条の2第2項に該当する職員（地方公務員法（昭和25年法律第261号）第28条の4第1項又は第28条の5第1項の規定により採用された職員を除く。）で、同項第2号に規定する満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子が居住するための住宅として、同号に規定する転任（四日市市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例（昭和33年四日市市条例第15号）の適用を受ける職員、国家公務員又は他の地方公共団体の地方公務員であった者から引き続き給料表の適用を受ける職員となった者にあつては、当該適用）の直前の住居であった住宅（市が設置する公舎及びその他規則で定める住宅を除く。）又はこれに準ずるものとして市長の定める住宅を借り受け、条例第40条の2第1項第1号に規定する月額を超える家賃を支払っているものとする。

（四日市市職員通勤手当支給規則の一部改正）

第7条 四日市市職員通勤手当支給規則（昭和33年四日市市規則第6号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
-----	-----

<p>(<u>定年前再任用短時間勤務職員</u>の支給額)</p> <p>第8条の2 (略)</p> <p>(支給単位期間)</p> <p>第10条の3 (略)</p> <p>2 前項第1号に掲げる交通機関等について、次の各号のいずれかに掲げる事由が同号に定める期間に係る最後の月の前月以前に生ずることが当該期間に係る最初の月の初日において明らかである場合には、当該事由が生ずることとなる日の属する月(その日が月の初日である場合にあっては、その日の属する月の前月)までの期間について、前項の規定にかかわらず、同項の規定に準じて支給単位期間を定めることができる。</p> <p>(1) <u>法第28条の6第1項</u>の規定による退職その他の離職をすること。</p> <p>(2)から(5)まで (略)</p>	<p>(<u>再任用短時間勤務職員</u>の支給額)</p> <p>第8条の2 (略)</p> <p>(支給単位期間)</p> <p>第10条の3 (略)</p> <p>2 前項第1号に掲げる交通機関等について、次の各号のいずれかに掲げる事由が同号に定める期間に係る最後の月の前月以前に生ずることが当該期間に係る最初の月の初日において明らかである場合には、当該事由が生ずることとなる日の属する月(その日が月の初日である場合にあっては、その日の属する月の前月)までの期間について、前項の規定にかかわらず、同項の規定に準じて支給単位期間を定めることができる。</p> <p>(1) <u>法第28条の2第1項</u>の規定による退職その他の離職をすること。</p> <p>(2)から(5)まで (略)</p>
---	--

(四日市市職員単身赴任手当支給規則の一部改正)

第8条 四日市市職員単身赴任手当支給規則(平成2年四日市市規則第26号)の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(権衡職員の範囲等)</p> <p>第4条の2 (略)</p> <p>2 前項の条例第42条第1項の規定による単身赴任手当を支給される職員との権衡上必要があると認められ</p>	<p>(権衡職員の範囲等)</p> <p>第4条の2 (略)</p> <p>2 前項の条例第42条第1項の規定による単身赴任手当を支給される職員との権衡上必要があると認められ</p>

<p>る職員は、次の各号に掲げる職員とする。</p> <p>(1) 地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号。以下、この号において「法」という。）<u>第 22 条の 4 第 1 項又は第 22 条の 5 第 1 項</u>の規定による採用（法の規定により退職した日の翌日におけるものに限る。）をされたこと（以下「事由発生」という。）に伴い、住居を移転し、第 2 条に規定するやむを得ない事情により、同居していた配偶者と別居することとなった職員で、当該事由発生の直前の住居から当該事由発生の直後に在勤する公署に通勤することが第 3 条に規定する基準に照らして困難であると認められるものうち、単身で生活することを常況とする職員。</p> <p>(2)から(6)まで （略）</p>	<p>る職員は、次の各号に掲げる職員とする。</p> <p>(1) 地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号。以下、この号において「法」という。）<u>第 28 条の 4 第 1 項又は第 28 条の 5 第 1 項</u>の規定による採用（<u>法第 28 条の 2 第 1 項の規定により退職した日（法第 28 条の 3 の規定により勤務した後退職した日及び当該採用に係る任期が満了した日を含む。）</u>の翌日におけるものに限る。）をされたこと（以下「事由発生」という。）に伴い、住居を移転し、第 2 条に規定するやむを得ない事情により、同居していた配偶者と別居することとなった職員で、当該事由発生の直前の住居から当該事由発生の直後に在勤する公署に通勤することが第 3 条に規定する基準に照らして困難であると認められるものうち、単身で生活することを常況とする職員。</p> <p>(2)から(6)まで （略）</p>
--	--

（四日市市職員管理職手当支給規則の一部改正）

第 9 条 四日市市職員管理職手当支給規則（昭和 37 年四日市市規則第 20 号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>第 2 条 （略）</p> <p>2 条例第 6 条の 5 第 1 項に規定する再任用職員については、前項の規定に</p>	<p>第 2 条 （略）</p> <p>2 条例第 6 条の 5 第 1 項に規定する再任用職員については、前項の規定に</p>

かかわらず、適用給料表の別並びに等級別基準職務表に定められた当該職員の属する職務の級及び当該職務の区分に応じ、別表の手当月額欄に定める額に四日市市職員の勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例（昭和28年四日市市条例第5号。以下「勤務条件に関する条例」という。）第3条第3項に定められた勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額（その額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とする。

3 第1項の規定にかかわらず、地方公務員の育児休業等に関する法律（平成3年法律第110号）第10条第1項に規定する育児短時間勤務をしている職員（同法第17条の規定による短時間勤務をすることとなった職員を含む。）については条例第6条の4の規定の適用を受けないものとした場合に第1項の規定を適用して得られた額に勤務条件に関する条例第3条第2項の規定により任命権者が定めた勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を、同法第18条第1項に規定する短時間勤務をしている職員については条例第6条の4の規定の適用を受けないものとした場合に第1項の規定により得ら

かかわらず、適用給料表の別並びに等級別基準職務表に定められた当該職員の属する職務の級及び当該職務の区分に応じ、別表の手当月額欄に定める額（条例第6条の5第2項に規定する再任用短時間勤務職員にあっては、その額に四日市市職員の勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例（昭和28年四日市市条例第5号。以下「勤務条件に関する条例」という。）第3条第3項に定められた勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額（その額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額））とする。

3 前2項の規定にかかわらず、地方公務員の育児休業等に関する法律（平成3年法律第110号）第10条第1項に規定する育児短時間勤務をしている職員（同法第17条の規定による短時間勤務をすることとなった職員を含む。）については条例第6条の4の規定の適用を受けないものとした場合に第1項の規定を適用して得られた額に勤務条件に関する条例第3条第2項の規定により任命権者が定めた勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を、同法第18条第1項に規定する短時間勤務をしている職員については条例第6条の4の規定の適用を受けないものとした場合に第1項の規定により得ら

<p>れた額に勤務条件に関する条例第3条第4項の規定により任命権者が定めた勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を、それぞれ乗じて得た額（その額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とする。</p>	<p>れた額に勤務条件に関する条例第3条第4項の規定により任命権者が定めた勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を、それぞれ乗じて得た額（その額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とする。</p>
--	--

（四日市市職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部改正）

第10条 四日市市職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則（平成20年四日市市規則第21号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>（勤勉手当の成績率）</p> <p>第20条 成績率は、次の各号のいずれに該当するかに応じ、当該各号に掲げる割合の範囲内において、市長が定めるものとする。</p> <p>(1) <u>法第22条の4第1項又は第22条の5第1項若しくは第2項の規定により採用された職員（第3号において「再任用職員」という。）以外の職員（ただし、次号に掲げる職員を除く。）</u> 100分の140以内</p> <p>(2) （略）</p> <p>(3) <u>定年前再任用短時間勤務職員</u>（ただし、前号に掲げる職員を除く。） 100分の70以内</p>	<p>（勤勉手当の成績率）</p> <p>第20条 成績率は、次の各号のいずれに該当するかに応じ、当該各号に掲げる割合の範囲内において、市長が定めるものとする。</p> <p>(1) <u>法第28条の4第1項、第28条の5第1項又は第28条の6第1項若しくは第2項の規定により採用された職員（第3号において「再任用職員」という。）以外の職員（ただし、次号に掲げる職員を除く。）</u> 100分の140以内</p> <p>(2) （略）</p> <p>(3) <u>再任用職員</u>（ただし、前号に掲げる職員を除く。） 100分の70以内</p>

（四日市市初任給調整手当支給規則の一部改正）

第11条 四日市市初任給調整手当支給規則（平成31年四日市市規則第32号）の

一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p><u>(条例附則第79条の規定の適用を受ける職員の支給期間及び支給額)</u></p> <p><u>第2条の2 条例附則第79条の規定の適用を受ける職員に対する前条の規定の適用については、当分の間、同条中「別表第2」とあるのは、「別表第3」とする。</u></p>	

改正後	
<u>別表第3 (第2条の2関係)</u>	
期間の区分	月額
<u>1年未満</u>	<u>17,500円</u>
<u>1年以上2年未満</u>	<u>16,800円</u>
<u>2年以上3年未満</u>	<u>16,100円</u>
<u>3年以上4年未満</u>	<u>15,400円</u>
<u>4年以上5年未満</u>	<u>14,000円</u>
<u>5年以上6年未満</u>	<u>12,600円</u>
<u>6年以上7年未満</u>	<u>11,200円</u>
<u>7年以上8年未満</u>	<u>9,800円</u>
<u>8年以上9年未満</u>	<u>8,400円</u>
<u>9年以上10年未満</u>	<u>7,000円</u>

改正前

(四日市市職員の再任用に関する規則の廃止)

第12条 四日市市職員の再任用に関する規則(平成13年四日市市規則第9号)は、廃止する。

附 則

(施行期日)

第1条 この規則は、令和5年4月1日から施行する。

(定義)

第2条 この附則において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 令和3年改正法 地方公務員法の一部を改正する法律（令和3年法律第63号）をいう。
- (2) 暫定再任用職員 令和3年改正法附則第4条第1項若しくは第2項、第5条第1項若しくは第3項、第6条第1項若しくは第2項又は第7条第1項若しくは第3項の規定により採用された職員をいう。
- (3) 暫定再任用短時間勤務職員 令和3年改正法附則第6条第1項若しくは第2項又は第7条第1項若しくは第3項の規定により採用された職員をいう。
- (4) 定年前再任用短時間勤務職員 地方公務員法（昭和25年法律第261号）第22条の4第1項又は第22条の5第1項の規定により採用された職員をいう。

(四日市市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例施行規則の一部改正に伴う経過措置)

第3条 暫定再任用短時間勤務職員は、定年前再任用短時間勤務職員とみなして、第1条の規定による改正後の四日市市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例施行規則の規定を適用する。

(四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部改正に伴う経過措置)

第4条 暫定再任用職員は、定年前再任用短時間勤務職員とみなして、第1条の規定による改正後の四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則第10条の3第1項の規定を適用する。

- 2 暫定再任用短時間勤務職員は、定年前再任用短時間勤務職員とみなして、第1条の規定による改正後の四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則第2条の2、第10条、第10条の2及び第10条の3第2項の規定を適用する。

(四日市市職員単身赴任手当支給規則の一部改正に伴う経過措置)

第5条 次に掲げる事由の発生に伴い、住居を移転し、四日市市職員単身赴任手当支給規則第2条に規定するやむを得ない事情により、同居していた配偶者と別居することとなった職員で、当該事由発生直前の住居から当該事由発生直後に在勤する公署に通勤することが同規則第3条に規定する基準に照らして困難であると認め

られるもののうち、単身で生活することを常況とするものとなった暫定再任用職員は、四日市市職員給与条例（昭和24年四日市市条例第15号）第42条第3項の規定により規則で定める職員とする。

- (1) 令和3年改正法附則第4条第1項、第5条第1項、第6条第1項又は第7条第1項の規定による採用（令和3年改正法による改正前の地方公務員法（以下「令和5年旧法」という。）第28条の2第1項の規定により退職した日（令和5年旧法第28条の3又は令和3年改正法附則第3条第5項若しくは第6項の規定により勤務した後退職した日及び令和5年旧法第28条の4第1項、第28条の5第1項若しくは第28条の6第1項若しくは第2項又は令和3年改正法附則第4条第1項、第5条第1項、第6条第1項若しくは第7条第1項の規定による採用に係る任期が満了した日を含む。）の翌日におけるものに限る。以下同じ。）をされたこと。
 - (2) 令和3年改正法附則第4条第2項、第5条第3項、第6条第2項又は第7条第3項の規定による採用（地方公務員法第28条の6第1項の規定により退職した日（同法第28条の7第1項又は第2項の規定により勤務した後退職した日及び同法第22条の4第1項若しくは第22条の5第1項又は令和3年改正法附則第4条第2項、第5条第3項、第6条第2項若しくは第7条第3項の規定による採用に係る任期が満了した日を含む。）の翌日におけるものに限る。以下同じ。）をされたこと。
- 2 令和3年改正法附則第4条第2項、第5条第3項、第6条第2項又は第7条第3項の規定により採用され勤務した後退職した日の翌日に地方公務員法第22条の4第1項又は第22条の5第1項の規定により採用された職員に対する第8条の規定による改正後の四日市市職員単身赴任手当支給規則第4条の2第2項の規定の適用については、同項第1号中「退職した日」とあるのは、「退職した日（地方公務員法の一部を改正する法律（令和3年法律第63号）附則第4条第2項、第5条第3項、第6条第2項又は第7条第3項の規定により採用され勤務した後退職した日を含む。）」とする。
- 3 この規則の施行の日前に、第8条の規定による改正前の四日市市職員単身赴任手当支給規則第4条の2第2項第1号に該当する採用をされた職員については、同項の規定は、この規則の施行後も、なおその効力を有する。

（四日市市職員管理職手当支給規則の一部改正に伴う経過措置）

第6条 暫定再任用短時間勤務職員は、定年前再任用短時間勤務職員とみなして、第9条の規定による改正後の四日市市職員管理職手当支給規則の規定を適用する。

（四日市市職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部改正に伴う経過措置）

第7条 暫定再任用短時間勤務職員は、定年前再任用短時間勤務職員とみなして、第9条の規定による改正後の四日市市職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の規定を適用する。

(総務部人事課)